

鹿児島純心大学看護栄養学部紀要投稿規定

1. 趣旨

鹿児島純心大学看護栄養学部紀要(以下、「本誌」と略す。)は鹿児島純心大学看護栄養学部(以下、「本学部」と略す。)の専任教員の教育・研究成果を掲載するために原則として年1回以上これを刊行する。

2. 投稿資格

本誌への投稿は本学部の専任教員とする。ただし、共著者名を記載するにあたっては、その中に本学部の専任教員でない者が含まれていてもさしつかえない。

3. 採択および掲載順序

いずれも紀要編集委員会にて審査の上、決定する。

4. 投稿論文について

- 1) 投稿は原著、総説、事例報告などとする。ただし、未発表のものに限られる。
- 2) 人および動物を対象とする研究は、鹿児島純心大学(以下、「本学」と略す。)の研究倫理審査の承認を得ており、研究倫理規程を遵守し、その具体的な内容を本文中に明記すること。他大学、または他の研究機関で承認を受けたときは、その承認書等のコピーを提出する。
- 3) 論文を分割し、同一号に投稿する場合は2編までとする。
- 4) 投稿は完全原稿にて1部提出する(電子データを添える)。OSはWindows、ソフトはWord、ExcelともにMicrosoft社のサポート期限内が可能である。

5. 原稿について

- 1) 様式は和文・英文のいずれでもよいが、原著および事例報告は要旨をつける。和文は800字以内、英文は400語以内とする。ただし、和文要旨の場合は英文で400語以内の抄録と表題・著者名・所属機関・キーワードを添える。
- 2) 組上がりはA4サイズで、図表込みの8ページまでとする。目安は9ポイントで1ページ約2,400字である。
- 3) 表はWordかExcelで作成し、図はWordに組み込むかjpg形式で提出する。画像や写真は元データ(スキャニングやデジタルカメラ等のデータ)も合わせて提出する。
- 4) 論文の構成は(1)表題・著者名・所属機関・キーワード (2)要旨 (3)本文(①緒言 ②対象 ③方法;倫理的配慮も含む ④結果 ⑤考察 ⑥要約に準ずる)・謝辞・利益相反 (4)文献 (5)英文抄録(和文原稿の場合)である。
- 5) キーワードは5語以内とする。

6) 原稿の書き方

- ① 原稿は左横書きで、ひらがな、常用漢字、現代かなづかいを用いる。
- ② 数字はアラビア数字を用いる。
- ③ 用語は医学用語辞典(日本医学会医学用語委員会編)などを参考にし、外国語、化学物質名、細菌の属名などは原語で、外来語、動植物名はカタカナで記載する。
なお、初出の際は用語は省略しないで、略語を括弧内に示すようにする。
- ④ 度量衡の単位はkm, m, cm, mm, μ m, l, dl, ml, μ l, kg, g, mg, μ g, mEq/l, mg/dlなどを用いる。
- ⑤ 項目分けは1, 1), (1), ①, (a)を標準とするが、さらに足すときは1の前にIやAを(a)の後に(i)などを用いる。

7) 文献の記載法

- ① 文献は引用順に従って、1) 2) 3)と文献番号をつけ、引用箇所の右肩にはその番号を付記する。
- ② 欧文誌はIndex Medicusの略称で、邦文誌は略称を用いないで記載する。
- ③ 著者名は原則として全員記載する。

〈具体例〉

(1) 雑誌の場合

著者名: 表題. 雑誌名 巻(号): 最初の頁 - 最終頁(通巻頁), 発行年

(例)

- 1) 高平百合子, 平田直美: 統合カリキュラムによる看護学部カリキュラム思案. 鹿児島純心大学看護学部紀要 1: 47-64, 1996
- 2) Ohkubo M, Fujimura S: Loss of activity of an N-methyl-4-pyridon-5-carboxamide oxidase in livers of rats fed 2-AAF. Cancer Res.38: 697-702, 1978

(2) 単行本の場合

著者名：書名．版数，発行社，発行地，発行年

(例)

- 1) 福田健夫：薬理学の要点．第3版，ヌーヴェルヒロカワ，東京，2004

(3) 単行本の分担執筆の場合

著者名：表題．編集者名：書名．版数，発行社，発行地，発行年，分担部分の最初の頁 - 最終頁

(例)

- 1) 武 敏子：15歳で1型糖尿病を発症した若い女性．中村丁次，板倉弘重編：実例・症例に学ぶ栄養管理．第1版，南山堂，東京，2004，22-33
- 2) Miyata K, Takesue T, Yamamoto E, Munakata S, Ninomiya M, Ono S : The Production of Cardiovascular Malformations with Combined Use of Antisera to Kidney and Heart. In Congenital Heart Disease : causes and processes. Nora JJ, Takao A, eds. Futura publishing Company, New York, 1984, 329-336

(4) Web ページの場合

サイト名，タイトル，URL（アクセス日付）を記載する。

(例)

- 1) 厚生労働省 保育所におけるアレルギー対応ガイドライン（2019年改訂版）
<https://www.mhlw.go.jp/content/000511242.pdf>（2020年3月19日アクセス）

6. 校正

- 1) 著者校正は2回までとする。
- 2) 校正した箇所はフォントの色を**赤字**にして原稿メディアを添えて返却する。
- 3) 図表の挿入箇所についても校正を行う。

7. 掲載料

カラー印刷の場合は一部を自己負担とすることがある。別冊は30部まで無料である。

8. 著作権

著作権は本学に帰属する。投稿に際しては，著作者全員が同意しているものとみなす。ただし，著作者が自分の論文を利用することを妨げない。

9. 電子化と公開

- 1) 掲載された当該論文の電子化および公開に関する権利の行使についても著作者から許諾されたものとする。
- 2) 公開された内容および当該サービスの利用された結果について，本学は一切責任を負わない。
- 3) 現在公開しているデータベースは以下の通りである。

(1) CiNii (NII 論文情報ナビゲータ)

(2) 医中誌 web

(附則)

この規定は，平成18年4月1日から施行する。

この規定は，平成18年4月1日から施行する。

この規定は，平成19年4月1日から施行する。

この規定は，平成21年4月1日から施行する。

この規定は，平成22年4月1日から施行する。

この規定は，平成27年4月1日から施行する。

この規定は，平成31年4月1日から施行する。

この規定は，令和2年4月1日から施行する。

この規定は，令和3年4月1日から施行する。

この規定は，令和6年4月1日から施行する。